

木曾人 かお顔力才 情報誌

Take Free
無料

きそじん Kisojin

2016
創刊号

木曾人、輝く!



Take Free
無料

木曾人 かお顔力才 情報誌
Kisojin — 創刊号 —

2016年4月発行

編集・発行 一般社団法人 木曾人 〒399-5602 長野県木曾郡上松町本町通り2-18-5
TEL: 0264-24-0116 FAX: 0264-24-0117
E-mail: info@kiso-jin.com http://www.kiso-jin.com

印刷・デザイン
山田印刷株式会社

情報発信基地





CONTENTS 目次

『Kisojin』創刊挨拶 「木曾人」って…?	01
匠あり 伝統と革新と…この地に生きる職人の世界	05
木曾路人名録 歴史街道沿いに生きる様々な人、それぞれの想い…	07
イベント情報 木曾谷やまびこ便 木曾谷各地からのお役立ち情報	09
木曾の魅せ店 ~mise-mise~ あんな店こんな店、ぜひお出かけください!	13
特別寄稿 田中要次『東京の木曾人』 あの「要次さん」からの手記…あるヨ!	15
どすこい! 御嶽海! 輝く木曾の星「御嶽海」を応援!	17
木曾 人がゆく! 趣味人集まれ! 楽しく生きよう!	19
おごっつお! 一度は味わってほしい逸品たち	21
木曾に生きる・木曾を活かす 地域おこし協力隊 活動報告 木曾で活動する皆さんの日々の報告記	23
御嶽山 ー未来へー 雄大な山稜の未来を見つめて…	25
木曾人からのお知らせ / 編集後記	27

魅力的な「木曾人」が
いっぱい登場しますよ!



Pick UP!

特別寄稿 『東京の木曾人』

15・16
ページに
あるヨ!

木曾町出身の俳優田中要次さんが『Kisojin』創刊にあたり手記を寄稿してくれました。様々な出逢いに導かれて都会で暮らすことになった要次さんが、故郷に寄せる秘めた想いを語ってくれます。



17・18
ページ



どすこい! 御嶽海!

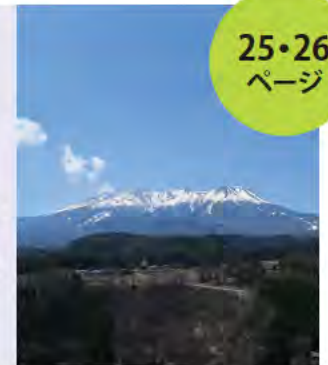
創刊号の表紙を飾ってくれた、木曾が誇る大相撲力士・御嶽海関。昨年の角界入りから破竹の勢いで勝ち進み、気迫の取り組みを魅せてくれている御嶽海関を応援するページです。

(表紙写真提供: 御嶽海後援会)

御嶽山 ー未来へー

25・26
ページ

悲しみの災害から1年半が経とうとしています。災害の記憶を風化させず、そこから学んだことを後世に伝えるために、御嶽山とそこに寄り添う人々の未来を考えます。





それは「あなた」です。

木曾人。



木曾人 かお顔力才 情報誌

木曾人
Kisojin





笑い、泣き、時には怒ったり
嘆いたりもしながら、
日々この地で生きている。

今は他所で暮らしているけど、
折々の帰郷を楽しみにしている。

木曾路の旅で、私だけの
お気に入りの場所がある。

食卓の風景に使い込まれた
木曾漆器がある。

御嶽山の噴火災害に心を痛め、
その後の木曾に想いを寄せている……

そんなふうには、この地域と絆を
結んでくれている

たくさんの方々は「木曾人」です。

そんな皆さんに向け、
情報誌「Kisojin」は
発刊されました。

勿論、今日初めて「木曾」を知った
という皆さんに向けても。

ページの中に木曾人がいます。
そして、その一人一人の向こうに、
今の木曾があります。

唯一無二のふるさとが
元気な場所であり続けられるように！
そんな祈りのような願いを掲げて、
ふるさと木曾の魅力や
発信し続ける誌面を作って
いきたいと思っています。
どうぞよろしく願います。





▲沈金による風景画



木曾漆器伝統工芸士

石本 則男さん
愛子さん

伝統工芸の継承と探求。
ともに歩み続ける職人の「道」。

たくみ
斤あり

各々の信念を胸に制作に励む石本さんご夫妻。お二人は今、漆器産業振興のために木曾高等漆芸学院の講師として、木曾漆器の未来を託す職人の育成にも力を尽くされている。



粗相の美
和魂洋彩

木曾平沢で「漆工房石本玉水」を営む石本則男さん愛子さんご夫妻。

則男さんは、伝統の技を握り所にオリジナルの「松明塗」の漆器を製作している。

ギャラリに並ぶ黒と朱の漆を纏った食器を手にとると温もりが伝わる。

「一言で言えば「粗相の美」、口当たり手触りがいいものを作っています。ジーパン感覚で毎日使ってもらいたい。使うほどに、その良さは必ずわかってもらえると思います。」

でも絵画的でもいいと思うし、今の時代に合った沈金作品を、試行錯誤しながら制作しています」

明りー今昔

工房2階にある愛子さんの展示室には椀・皿・オブジェ等独特の彫りと色合いの作品が並んでいる。そして「これが沈金？」と目を見張るほど鮮やか且つ繊細な彩りで表現された風景画が美しい。清浄さと明るさを湛えた自然風景は、愛子さんが見出した木曾各地の景観が昇華しているようだ。絵を取り囲む漆の深い黒が、その彩りを尚更引き立てている。

「黒の中に金」という伝統的な沈金加飾もそれはそれでインパクトがある加飾です。

でもそれは障子越しの自然光やろうそくの灯という昔の光環境での美。白い壁に強い照明という現代の光環境の中でも否定されない漆作品を開



木曾漆器

江戸時代、木曾漆器は中山道木曾路を往く旅人に人気の土産物だった。明治初期、堅牢な下地作りには欠かせない良い錆土(さびつち)が地元で採取されるようになり、「丈夫な木曾漆器」と認知度も高まる。以来、先人より受け継がれた技法を基に木曾漆器は脈々と生産されてきた。

一方、愛子さんは「和魂洋彩」、繊細優美なおしゃれな漆器…が信条だ。

塗り重ねた漆の表面に専用のノミを使って文様を彫り、そこに金箔や金粉などを入れて絵を表す加飾法の「沈金」。愛子さんはこの技法を駆使して独自の作品を制作している。

「沈金では漆の「黒」がベースにあってそこに「金」を入れていきます。デザインとしては「花鳥風月」が地盤として流れていますね」と、沈金の伝統を伝えてくれた上で、「もうちょっとフアジーというか、奥行き感が欲しい…漆であっ

拓していきたいんです。」

四十年以上にわたるキャリアを振り返っても「十分満足」のいく作品はまだないです」と語るその姿は、道標のない道をひたすら歩き続ける「旅人」のようにも思えてくる。



うるし工房 石本玉水

〒399-6302 塩尻市木曾平沢1692
TEL:0264-34-2106 FAX:0264-34-2803
【営業時間】9:00~18:00





「文学っていうのはすごいに消えちゃうものが残っていくんだ。」

藤村と同じように、齋藤さんご自身もまた言葉で故郷に繋がっている。観光ブームが到来した昭和40年代後半、多い年には40万人が木曾路の宿場に溢れたそう。記念館にも藤村文学の「根っこ」に触れようと、多くの文学ファンが訪れた。「木曾路はすべて山の中である」

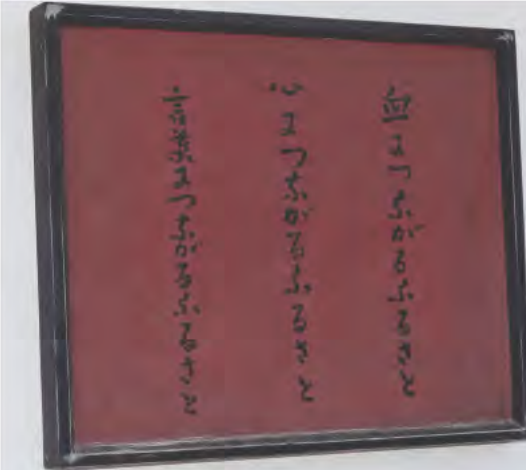


研究者への応対・テレビ局の取材等をこなす齋藤さん。時には自ら講演依頼を受ける事も。

『夜明け前』を読んだ人が、その舞台となった土地を観て感じるために訪れてきたのだ。

「それが最近、藤村の事をまったく知らない若い観光客や外国人が、この宿場に来て初めて藤村に出会うのよ。そして本を買って読み、また来る。昔と逆だね。」

小説世界の風景が今なお瑞々しく遺されていることこそ木曾の財産だと齋藤さんは強調する。



木曾路^{きそじ}人名録^{めいろく}

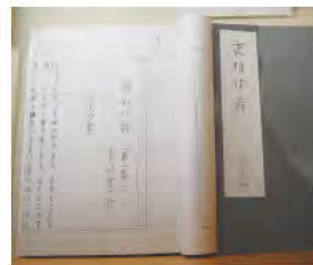
一般財団法人 藤村記念館 理事
齋藤 稔さん



血につながるふるさと
心につながるふるさと
言葉につながるふるさと

坂道の宿場馬籠に建つ藤村記念館入口で、文豪島崎藤村が故郷の地に遺した三行の言葉が静かに旅人を迎えている。その文学世界とふるさとへの想いを大切に守り続ける場所がある。人がいる。

齋藤稔さんは、旧山口村生まれ。定年まで地元の役場に勤めた後、財団法人藤村記念館の理事となり、藤村を顕彰



島崎 藤村 (1872年～1943年)
本名は島崎春樹。中山道木曾路の馬籠宿生れ。浪漫派詩人として『若菜集』などを出版後小説に転じ『破戒』『春』などで代表的な自然主義作家となった。晩年の大作『夜明け前』は日本歴史小説の金字塔として今も読み継がれている。

「生まれ故郷だからって、地元の誰も彼もが藤村を読み込んでるわけではないよ。」
実はそう言う齋藤さんもその一人だった。しかし、昭和62年NHKが制作したドラマ『夜明け前』にエキストラとして出演したのがきっかけで、藤村作品の魅力に踏み込んでいくことになったそう。

「この施設の実質的な運営を担ってきている。」
「生まれ故郷だからって、地元の誰も彼もが藤村を読み込んでるわけではないよ。」



『夜明け前』を語りだすと徐々に熱気が...

そして古典へ...

昭和4年に『夜明け前』が連載開始されてから今年で87年。あと13年で100年を

迎える。

「100年読み継がれればそれはもう立派な古典。それは時代の波を経てなお、読む価値あり！」と皆が認めるということ。『発刊百年記念行事』をやりたいよねえ...」

ふるさとを大切にしたい。今、その想いが齋藤さんの中で強くなっているそう。

島崎藤村、齋藤さん、馬籠宿の人々。
血で、心で、言葉で、ふるさととは今なお繋がっている。



藤村記念館

〒508-0502 岐阜県中津川市馬籠4256-1
TEL:0573-69-2047 FAX:0573-69-2231

【開館時間】9:00～17:00

(12月～3月は～16:00)

※入館は15分前まで

【休館日】12月～2月の毎週水曜日



■おんたけ湖カヌーツーリング
開催期間：平成28年5月1日(日)～11月3日(祝)
☎ 王滝観光総合事務所 ☎0264-48-2257



■自然湖ネイチャーカヌーツアー
開催期間：平成28年4月下旬～11月中旬
☎ おんたけアドベンチャー ☎0264-48-1208

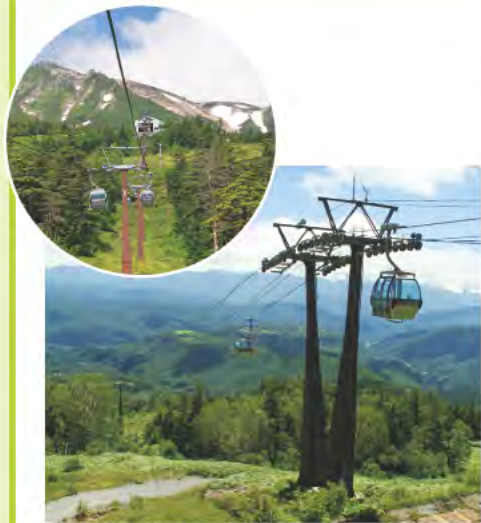
御岳湖は標高900メートルに広がる湖です。湖面から眺める景色は新鮮！豊かな自然に抱かれるひと時、インスタクターの案内を受けながら、のんびりと湖上散策を楽しみましょう。

また、王滝川上流にある自然湖では、水面に並ぶ木々を抜け断崖の秘境へと向かうカヌーツアーを満喫できます。のんびり落ち着ける少人数ツアーで、初心者の方も安心です。※いずれも事前予約が必要となります。

御嶽山麓の季節の移ろいを湖面から楽しもう！

王滝村

**おんたけ湖カヌーツーリング
自然湖ネイチャーカヌーツアー**



■御岳ロープウェイ
特別運行開催期間：
平成28年4月29日(金)～5月8日(日)
☎ 御岳ロープウェイ ☎0264-46-2525

御嶽山を愛するたくさんの人たちに支えられて、御嶽山の5ヶ7合目にかかる御岳ロープウェイは今年も元気に営業します。

山頂の飯森高原駅は標高2150m。遠景に北アルプス・中央アルプス連峰の迫力のパノラマ、足許に壮大な雲海が広がる光景も見ることができます。

夏山営業は5月28日(土)からですが、一足先に春の特別運行を行います。ゴールデンウィーク限定の運行。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

木曽町

**御岳ロープウェイ
ゴールデンウィーク特別運行**



※写真はイメージです。

■BBQコン in ホテル木曽路
開催日時：2016年5月29日(日)10:30～15:00
会場：ホテル木曽路
参加費：3,000円(税込、温泉入浴・お土産付き)
参加資格：25歳から45歳までの独身男女各15名
申込締切：2016年5月22日(日)
詳しくは <http://koisurunagiso.com/>
☎ 恋する南木曽 メール ngo5@e-mail.jp

南木曽町の有志で立ち上げた婚活イベント実行委員会「恋する南木曽」が主催する婚活バーベキュー交流会を5月29日(日)に開催します。

会場は妻籠宿にも近いホテル木曽路。男女ペアでのお作り・バーベキューをしながらの交流会・1対1のトークタイム等で楽しい婚活のひと時を過ごしませんか？イベント終了後はホテル木曽路自慢の温泉でゆっくり寛いでいただけます。ただ今男女各15名の参加者を募集中。まずは「恋する南木曽」のHPをチェック！

南木曽町

BBQコン in ホテル木曽路

春夏秋冬 南木曽に恋を 南木曽で恋を

塩尻市
榑川地区
第49回
木曾漆器祭・奈良井宿場祭

木曾漆器祭は木曾平沢で行われる年に一度の大漆器市です。漆器の販売はもちろん、普段見学することのできない工房見学や漆器を使ったテーブルウェアコーディネートも見る事ができます。

奈良井宿場祭は、6月4日(土)にフォトコンテスト&きもの街歩きを開催。6月5日(日)には、「お茶壺道中」を開催します。江戸時代徳川將軍家御用のお茶を毎年京都宇治から中山道、甲州街道を経由し、江戸まで運んだ道中行列が古の風情漂う町並みで鮮やかに再現されます。



■第49回 木曾漆器祭・奈良井宿場祭
開催日：平成28年6月3日(金)～6月5日(日)
会場：塩尻市榑川地区全域
(奈良井、木曾平沢、贅川)
☎塩尻商工会議所 ☎0263-52-0258



上松町
赤沢自然休養林開園
森林鉄道運行開始

森林浴のふるさとで「森林セラピー」体験！

木曾林業の歴史を今に伝える森林鉄道が、今年も森林浴の森に皆さんを誘います！今年の開園日は4月29日(祝)です。

休養林の散策を楽しみながら、今シーズンにはあなたも「森林セラピー」を体験してみませんか？ストレス解消や免疫力向上などの効果が医学的にも実証されてきた森林浴を、体の健康維持や病気の予防に活かす「森林セラピー」。事前予約をしていただければ専門のガイドが同行し、最善のセラピーメニューを提供します。



■赤沢自然休養林
開催期間：
平成28年4月29日(祝)～11月7日(月)
☎上松町観光協会 ☎0264-52-1133

木祖村

中山道木曾路街道歩き

「木曾路の魅力」&「健脚」をゲット！

中山道の16の宿場(木曾路11宿・塩尻市の3宿・岐阜県の2宿、総距離約120km)を、春から秋までの全11回に分けて歩きます。昔の街道を一步一歩歩いて、街道沿いの木曾の魅力を見つけてください！

毎回出発と解散はJRの駅。同じガイドが全行程を案内しますから安心です。地域の見所を地元住民と交流しながら楽しめるのもこの街道歩きの楽しみです。



■中山道木曾路街道歩き

日程：4月26日(火) JRみどり湖駅→塩尻宿→平出遺跡→洗馬宿→本山宿→日出塩駅(約13km)
5月17日(火) 日出塩駅→桜沢(「是より南木曾路」の碑)→贅川関所→贅川宿→暮らしの工芸館→平沢(間の宿)→木曾平沢駅(約12km)

※3回目以降の日程についてはお問い合わせください。

※単数回の参加も可能です。

定員：毎回40名

費用：1回につき2,000円(案内料・資料・傷害保険料等)

☎/☎ NPO法人 木曾川・水の始発駅 ☎0264-36-2772



大桑村

夜桜祭り

かがり火に浮かぶ「夜桜まつり」

村民スポーツの中心地「大桑村スポーツ公園」にはおよそ160本の八重桜があります。毎年開花の季節を迎える「大桑元気な会」の皆さんが中心となりライトアップを準備、みんなで夜桜を楽しむイベントを開催しています。篝火の焚かれる中、毎年多彩なアトラクションも楽しめ、今年もアルプホルンの演奏をはじめとした音楽演奏や風情溢れる野点も行われる予定です。



■夜桜祭り

開催日時：平成28年4月29日(金)・30日(土)
17:30～21:00

※4月24日～5月5日は提灯が飾り付けされます。

場所：大桑村スポーツ公園芝生広場(藤棚の横)
☎大桑村教育委員会 ☎0264-55-1020

●濃厚牛乳プリン／190円(税込)

蜜は黒糖と抹茶の2種



●ニコニコまんじゅう／105円(税込)
店の看板の顔!



ひと休み…。



ぶらり立ち寄り、

木曾の魅せ店

mise-mise

木曾町 福島
菓子蔵・喜しろう



〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島5052-イ
TEL:0264-22-4800
【営業時間】10:00~18:00
【定休日】火曜日・第4月曜日(祝祭日除く)
「喜ぶログ」<http://kishiro.naganoblog.jp/>



また、駐車場や公衆トイレを備えた町内史跡めぐりの拠点でもあり、シーズンには観光客の立ち寄りも多く、観光案内もお店の重要な役割となっている。
いちおしの人気商品は「濃厚牛乳プリン」と「ニコニコまんじゅう」。また、春の草大福、初夏のほお葉巻き、秋の栗子もちなど、地元の味を大切にした季節商品や、女将の生まれた伊豆で採れた夏ミカンを使った干菓子やソーダもお薦め。
イトインコーナーでは

年間十回を超える企画展を開催している。長野県技術専門校(上松町)で木工芸等を学んだ卒業生を中心に、県外出身の若手アーティストとも店主夫婦はつながりが深く、仲間として自宅に招いて展示即売会を催している。美しくアーティスティックなクラフトのファンを開拓し、販促活動を応援したいという願いが形になっている。
とはいえ、女将の七美さんの温かさや木曾の四季を感じる味の豊かさが、この店のいちばんの魅力である。

中山道福島宿の北の玄関口、上町交差点にある、蔵を改装した小さな店「菓子蔵・喜しろう」。扉を開けると女将大橋七美さんの素敵なお顔が迎えてくれる。遊び心たっぷりの昭和レトロなインテリアで彩られた小さな空間には、手づくりの可愛い和菓子たちが並ぶ。イトインコーナーにはベンチのほかにお薦めの本が並び、ゆったりと

時間を過ごすことも出来る。約十年前に製造卸を営むおはし製菓舗のアンテナショップ(小売部門)として同社若夫婦が開店し、「美味しさが見える商品」をキャッチフレーズにお客さんを楽しませている。
小さな子供連れのお母さん、塾帰りの小学生たち、お散歩途中の奥様など、地元のお客さんが後を絶たない。

俳優
田中要次さん
からの
メッセージ
…あるよ!

故郷への想いを心に秘めながら、
木曾を離れ生きている人たちがいます。
木曾出身の俳優田中要次さんが
『Kisojin』創刊にあたり手記を寄稿してくれました。

『東京の木曾人』

田中 要次

木曾を離れて今年で三十年目を迎える。木曾に生まれ、小六で父を亡くして母子家庭育ちだった僕は地元就職のつもりで国鉄に就職したものの、民営化の煽りを受けて愛知県に転勤となった。そして名古屋の映画館通いの中で尊敬していた映画監督と知り合い、今に至る人生のきっかけを授かった。だから僕は決して自らの意思で木曾を離れた訳ではない。三十年前の自分は夢を求めて故郷を離れる理由も勇気すらもなく、木曾に骨を埋めるであろうつもりでささやかな人生の将来を思い描いていた。地元でアマチュアバンドをやったり、松本の映画サークルに入り、都市でしか観られないコンサートや映画があれば、名古屋や東京に足を運ぶ。そんな生活でもそれなりに楽しんで暮らしていたつもりだった。東京に出て俳優になろうなんて微塵も考えてはいなかった。もしタイムトラベルして、三十年前の自分に将来の生活の事を知らせたら、きつと大声をあげて驚くに違いない。

父を亡くした時から、人生何が起るか分からないと思わされる事の繰り返しだった気がする。安定を求めても運命がちつとも言う事を聞いてくれないから、不安定な人生に飛び込む事も恐れなくなっていただけ…そして今の僕は運良く生きているだけ…いつまた真逆にひっくり返ってしまうか分からない事も忘れてはならないと思うのだ。父の生涯はたつたの五十二年だった。そのDNAを受け継いだ僕がどれ程の生命力を持っているのかも不安だったから、今五十二歳を越えてから人生は猫のごとく神妙に成らざるをえない。

最近、もうひとりの自分を考えるようになった。もし僕が故郷を離れることなく、ずっと木曾で暮らしていたら他に何をしていたらどうか? そのもう一人の自分がしたであろう事を実現してみるのも面白くないか?

かつて、年に一度だけ「フィルムハウス」という名で福島会館で映画の上映をやっていた、川合恵美子さんという方がいた。映画館が無くなってしまった木曾ではとても貴重な上映会だった。それも小津安二郎監督作品や中国映画など上質な作品をセレクトして届けてくれた。僕がその刺激を受けたのは言うまでもない。映画好きだった亡き旦那さんへの線香代わりと聞いた事がある。その後、僕は川合さんの活動を手伝う事となり、僕が選んだ映画を上映して貰ったりもした事もある。川合さんと映画の話をしてると朝方になってしまふ事がよくあった。言わば僕にとって映画の母のような方だった。川合さん無くして今の僕は有りえない。

今こそ僕が川合さんがやっていた事を受け継ぐべきではないかと思っている。僕が授かったものを誰かに伝えよう。そんな事を思うようになった。これも歳だからかもしれない。僕は先代から父に受け継がれた林業も農業も受け継ぐ事はなかったけど、僕なりに受け継げられるものがある。三十年前の自分を楽しませる事を考えれば簡単な事だ。もしかしたら僕らの想いを受け継ぐ、新たな誰かを見つけられるかもしれない。そんなふうと考えていると、木曾に帰る事も楽しくなってくる。

欲を言えば、僕も林業や農業も改めて学習できる時間が持てるようになったらいいなと思っている。手付かずになっている田畑や山を手入れしたい。三十年前の自分はそんな事など、これっぽっちも考えた事はなかった。人生とは不思議なものだ。元に戻るようになってくるのか?

いつか僕が芸能界での存在を失い、都落ちして実家に引き籠もり、地元の誰からも相手にされていない。そんな終末だけは避けたいな…

田中〈BoBA〉要次さんプロフィール

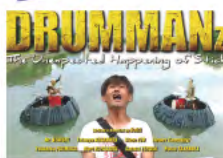
1963年8月8日生まれ。木曾町(旧木曾福島町)出身。木曾山林高校卒業後国鉄に就職、民営化後にはJR東海の社員として愛知県で働く日々の中、映画館通いに明け暮れる。多くの映画人との親交も生まれ映画の世界に傾倒。上京後は俳優としてキャリアを重ねてきた。テレビ・舞台・CM・PV等々、その出演メディアの豊富さでも名を馳せている。近年鉄道旅行などの旅番組への出演も多いが、猫好きとしても有名。

※「BoBA」とは? ……「ボバ」と呼び、最初の出演作の役名にちなんでいるが、様々な意味で思い入れのある呼称。詳しくは「田中要次ブログ」を! <http://babibox.blog78.fc2.com>



Information

田中要次さんが監督した映画の上映会が松本で開催されます!



松本CINEMAセレクト 特別企画

『俳優 田中要次 監督作品もあるよ!』～監督作品上映と田中要次さんのトーク～

上映 『ドラムマンズ パチがもたらす予期せぬ出来事』他2本

日時 4月22日(金) 19:30～21:30

場所 松本市民芸術館小ホール

料金 一般は前売当日共に通常料金1,800円

※学生は1,000円の特別割引料金

◆詳細は松本CINEMAセレクト(<http://www.cinema-select.com/>)
または☎0263-98-4928まで



トークも
あるよ!

御嶽海後援会だより



大相撲界の新星として輝き始めた御嶽海関の更なる活躍を願い、また、青少年の健全育成や木曾地域の活性化の一助になればと、昨年10月、木曾郡下の各町村長らが発起人となり御嶽海後援会が発足しました。



御嶽海関とファンを繋ぐパイプ役として観戦ツアーの運営など様々に活動していく後援会ですが、今年2月には念願だった化粧まわしが完成。小島洋一郎後援会長らが3月場所直前の大阪を訪れ御嶽海関に贈呈しました。

凛々しい御嶽山が青空に聳える姿が鮮やかな後援会の化粧まわし、御嶽海関は大阪場所ですっそく土俵入りに着用、その効果か!? 見事10勝5敗の好成績で勝ち越しを決めてくれました。

みんなで御嶽海関を応援しよう!

御嶽海後援会では、
現在会員を募集しています。

会員特典

- ◆本場所の観戦ツアー
- ◆本場所番付表送付
- ◆相撲協会 大相撲カレンダー送付
- ◆記念品の配布 など



入会方法

後援会事務局 0264-23-8010へお問い合わせください。
後援会のホームページに入会のご案内と入会用のフォームがあります。
●<http://www.kisoji.com/mitakeumi/>

後援会費

入会費… 5,000円
年会費… 個人様 10,000円 / 法人様 30,000円

(写真提供: 御嶽海後援会・奥田忠夫さん)



どすこら!!
御嶽海!
たけらみ

「ほっけよいのだったあー!」
少年時代、山里の土俵で流した汗は伊達じゃない! 中・高・大学と地道に重ねた稽古も伊達じゃない! 得意とする突き押し相撲で大相撲への道を自ら切り拓いた上松町出身の大道久司さん。さつに幕内への快進撃で私たちの心を熱く躍らせてくれました。
木曾の星! 御嶽海関。今年も土俵に輝け!



入門からの成績経過

2015年—
2月 出羽海部屋入門
3月場所 6勝1敗(幕下)
5月場所 6勝1敗(幕下)
7月場所 11勝4敗(十両、優勝)
9月場所 12勝3敗(十両)
11月場所 8勝7敗(幕内)
2016年—
1月場所 5勝8敗2休場(幕内)
3月場所 10勝5敗(幕内)

プロフィール

所属部屋 出羽海部屋
本名 大道久司
しこ名 御嶽海
番付 前頭十三枚目
生年月日 平成4年12月25日
出身地 長野県木曾郡上松町
身長 179cm
体重 149kg
得意技 突き・押し

戦歴

生涯戦歴 58勝29敗2休
幕内戦歴 23勝20敗2休
幕内在位 3場所
(2016年3月場所終了時点)





木曾 人がゆく!

暮らしに潤いを与えてくれる趣味や特技も十人十色ですよ。
木曾の趣味の人を紹介していくページです。…あなたは木曾(?)人ですか?



われら木曾吹人!

木祖村『吹いちゃおーズ』の皆さん

吹いちゃおー!!

会の前身は十数年前に立ち上げられた「木祖村ハーモニカ同好会」。ハーモニカの合奏を気の置けない仲間と楽しんでいましたが、やがてメンバーの減少で休止状態に。

しかし、「昨年の暮れ「笑ん館」がオープンし、「こんないい場所ができたのだから」と昨年4月に、吹きたい男達が再結集しました。笑ん館でのコンサートイベントや高齢者福祉施設での慰問活動などを行う中、昨年から女性6名も参加しさらに賑やかに。和やかな雰囲気練習を重ねながら、文字通り、息の合った「ハーモニカ吹奏を楽しんでいます」。

▶会のマネージャー役の武重慧さん。活動再開にあたってリニューアルした名称「吹いちゃおーズ」は武重さんの「ひらめき」による。



ん」。毎週水曜日の午後、このコミュニティスペースをなんともいえない懐かしさで満たすのが、「吹いちゃおーズ」の皆さんが奏でるハーモニカの音色です。
現在メンバーは11名。尋ねた日はそのうち2名が残念ながら欠席。皆さんイロイロと忙しいのです。しかしここに集い「マイハーモニカ」を手にするときだけは日々のわずらい事をポイツと棚に上げ…歌集をひるげ…ひと息を深く吸い込み…吹く! さらに吹く! 吹き奏でる! 皆さん、ハーモニカのメロディに酔う「木曾吹人」なのであります。



▲会長の篠原修平さんいわく…「戦後はハーモニカを吹くたび、明日も生きていこうって思ったもんだ」

ハーモニカで健康!

上手に吹くコツは、「歌うように」なのだそう。そしてそのためには肺活量が大事なのだとか教えて頂きました。管楽器のほとんどが腹式呼吸を使って吹奏されますが、なかでも呼吸と吸気の両方を使う「ハーモニカの複式呼吸は、肺機能を高められるといえます」。

ハーモニカは日本語で「口風琴」と表記します。呼吸と吸気を「口の風」というところがなんと洒落ていると思いませんか?
「吹いちゃおーズ」の皆さんの、「口の風」に乗り、これからも柔らかく温かいメロディーが紡がれていきます。



ちなみに皆さんは「ボラ」は吹かない…そっだ。



吹人仲間募集中!
練習は毎週水曜日です。
問い合わせは
0264-36-2168
武重さんまで





寿命そば 越前屋

〒399-5601 長野県木曾郡上松町上松寝覚1710
 TEL:0264-52-2081 <http://www.echizenya-soba.jp/>
 【営業時間】平日10:30~17:30、土日10:30~18:00
 (冬季10:30~17:00)
 【定休日】木曜日

国道19号沿いの上松町寝覚(ねざめ)のそば店。木曾川べりに巨大な花崗岩の造形、景勝地「寝覚の床」は古より名高く、越前屋は弥次喜多で有名な十返舎一九木曾街道続

「おいっつお!」(馳走さま!)
 一度は味わいたいあの店の逸品、ご紹介します!

おいっつお!

▶生ハムとレタスのスパゲティ/800円
 香辛料のきいた優しい酸味肉厚のレタスと旨み深い生ハムの塩味でさっぱりといただく。優しい色どりも女性に人気の秘訣。ミニサラダつき。大盛+200円。



◀コロケ/500円(2個)
 お母さんの手づくりコロケ風。ホクホク&パリッと美味。粗挽きのじゃが芋にコーンなどが入り、卓上の濃厚ソースでいただく。1個から注文可。定食もあり。

に盛られてくるのも昔ながら。そして来店者にファンが多いこの店の「おいっつお」はそば寿司!木曾にそば店多しといえど、気軽に注文できる店は稀少である。年中注文することができ、数あるそばのメニューと共に是非一度は味わってみたい逸品だ。

上松町 **寿命そば 越前屋**

そば寿司

16代目店主
 横山 太一さんと
 その母上
 横山 久美子さん



▲そば/1,240円
 絶妙な舌触りの白いそば、厳選されたダシが効くつゆ、代を継いだ妙味だ。浦島太郎が晩年寝覚の床で長寿を得たという伝説から「長寿そば」と名付けられた。

◀そば寿司/620円
 蕎麦が海苔の香ばしい風味に巻かれて、しっとりとした味わい。具は、玉子焼・胡瓜・干瓢・紅生姜で、その切り口の美しい事。お持ち帰りできるのも嬉しい。

木曾町 開田

カフェ&レスト はーと

パスタ&コロケ

女将
 下村 美和子さん



カフェ&レスト はーと
 〒397-0301 長野県木曾郡木曾町開田高原末川12303-1
 TEL:0264-42-3048 <http://www.zoone.com/heart/heart.html>
 【営業時間】9:00~18:00
 【定休日】月曜日(7~9月は無休)

木曾福島から国道361号・新地蔵トンネルを抜けて開田高原に入ると、国道沿いにお洒落なログハウスのカフェ&レストランがある。清潔な店内に女将の下村美和子さんの上品な笑顔が優しい。全て手作りのオリジナルな味わいは高原の水と空気にベストマッチ。パスタやカレーのほか定食も充実しており、ケーキセットも人気の定番。手づくりの焼き菓子「ビスコッタ」はバターを使わず焼いたもの。ナッツの香りが芳しい低カロリー逸品で、お土産にも喜ばれる。また、暖かい季節はペットと一緒にテラス席を使える。開田高原に来たら、ぜひ立ち寄りたい。

木曾で生きる!

木曾を活かす!

地域おこし協力隊 活動報告

南木曾町から

地方が都市部からの人材を受け入れ、地域力を高める活動に積極的に関わってもらいながら、その定着・定住を図っていくという『地域おこし協力隊』制度を利用して、今木曾にも20名程の皆さんが暮らし、それぞれ活動を行っています。「木曾で生きる隊員」の皆さんの活動報告のページです。



こちらは、同じく2年前から一緒に活動している名古屋出身の松林沙紀さんです。彼女は駅前商店街にある元本屋さんの空き店舗を地域の人たちと改修、現在「ミニミニティースペース」(ミニツク)として運営しています。「ミニツク」には、みんながくつろげるように、お子さんが読める児童書や絵本、お茶やお菓子も置いてあります。彼女はいつも笑顔で、立ち寄ってくれた人を和やかな雰囲気です。月一でイベントを迎え入れてくれます。月一でイベントを企画したり、地元のお母さんやお子さんと一緒に絵本を借りに来てくれたり、高校生や中学生も学校帰りに立ち寄ってくれたり、と、どんどんミニツクの輪が広がっています。

今回執筆を担当させていただきました。東京出身の伊藤恵理です。私は金属工芸を大学で学んでいたことや、アートを通して地域と関わっていきたくて思い、去年の秋「NAIRー南木曾アーティスト・イン・レジデンス」で名付け、神奈川、栃木、イギリスから3人の若い女性アーティストを招へいし、妻籠宿内にある旧妻籠小学校で現代美術の展示会を開催しました。



▲イギリス人アーティスト、アンナ・ゴンザレス・野口さんのパフォーマンス

彼女は、協力隊1年目の中津川出身の杉野明日香さんです。彼女は、飲食店の開業を目標に町にある地域資源を使ったお菓子づくりやお料理をメインに活動しています。昨年は、私が行ったイベントのオープニング料理にクマ笹をつかったロールケーキを作ってくれました。また、南木曾町で薬草の会が発足したのを機に、薬草を使った商品の開発などを行い、田立地区での伝統産業である和紙漉きにも挑戦しています。女性ならではの視点と彼女の繊細な表現は、南木曾町にある素材をまさにお菓子やものづくりで美味しく料理されていくの、だろうと思います。



私も鍛金の作品や、田立の和紙をつかった作品を制作しました。アーティストは月に1ヶ月間ホームステイをしながら、主に小学校で作品を制作。こどもたちに向けたワークショップや公開制作を行うなど様々なことにも挑戦し、地域の方の協力も得ながら、盛況のうちに終えることができました。今年も開催できるように鋭意準備中です。



こちらは熊谷洋さん。亥年の乙女座。南国宮崎生まれの32歳です。2015年春、日本の里山文化を世界に発信するべく南木曾町に移住しました。旧中山道沿い、わずか4軒の集落に佇む築200年の古民家を大工さんと一緒に改修しながら、里山ゲストハウス&カフェ『結び庵』の今夏開業を目指しています。田畑を耕し、養鶏や養蜂にも取り組むことで、かつてあった土や森や生き物たちと共に生きる里山的暮らしを再生し、その豊かさを、この場所を訪れる世界中の人々に届けることが現在の活動テーマです。

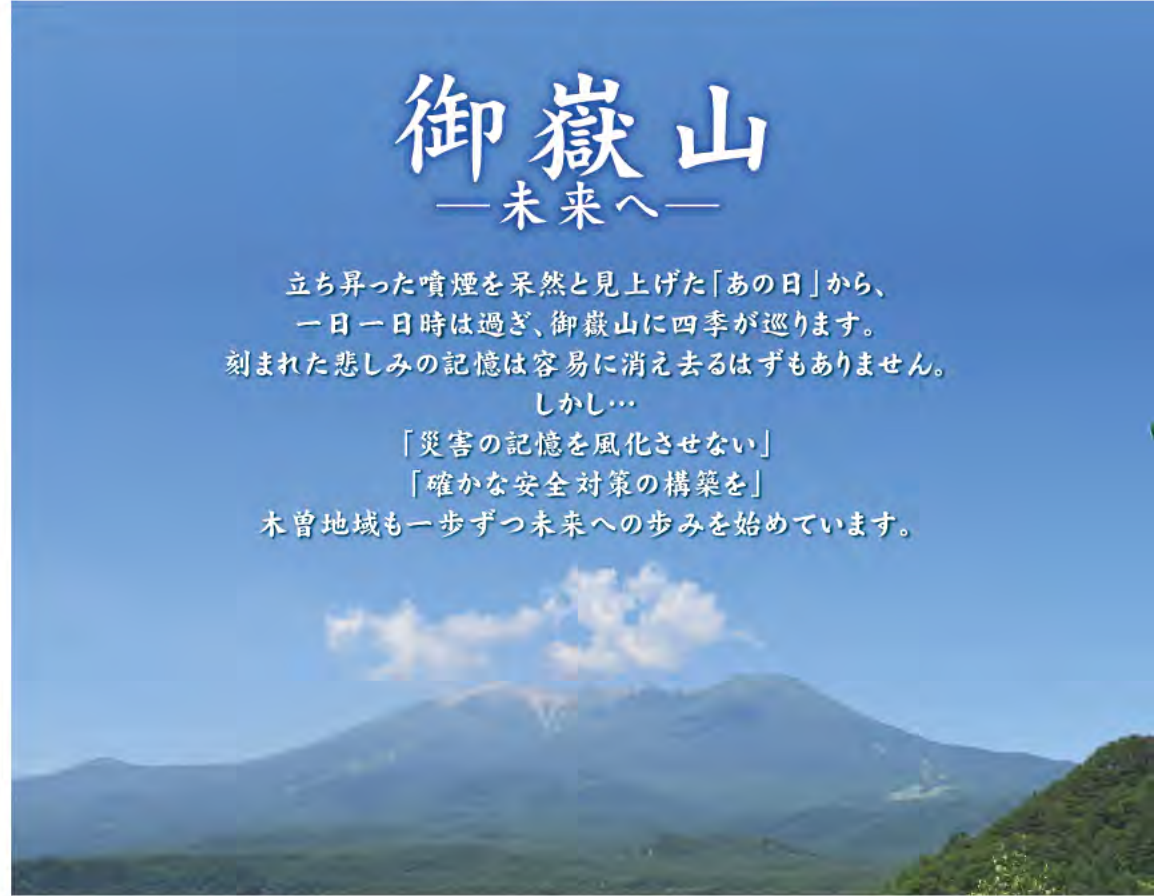
こんな4人が今南木曾町で活動しています。これからも、どうぞよろしくお祈りします。

御嶽山

—未来へ—

立ち昇った噴煙を呆然と見上げた「あの日」から、
一日一日時は過ぎ、御嶽山に四季が巡ります。
刻まれた悲しみの記憶は容易に消え去るはずありません。

しかし…
「災害の記憶を風化させない」
「確かな安全対策の構築を」
木曽地域も一歩ずつ未来への歩みを始めています。



繰り返さない

悲劇を二度と繰り返さないために、登山者や地域住民が正確な最新の情報を手に入れることは不可欠の要素です。

国では活火山防災に関するワーキンググループを設置、現在火山専門家も含む関係者が一体となった防災体制の強化を図っています。御嶽山をはじめとする活火山に関する最新の情報は「気象庁」のホームページ (<http://www.jma.go.jp>) から入手できます。

気象庁メインページ ↓ 防災情報 ↓ 火山

また、長野・岐阜両県の関係機関や有識者らで構成する「御嶽山火山防災協議会」では、現在山麓地域での具体的な防災計画の策定も進められています。

御嶽山に関する情報は、王滝村・木曽町の役場公式ウェブページでも発信されているのでチェックしましょう。

王滝村 (www.vill.otaki.nagano.jp)

役場メインページ ↓ 役場からのお知らせ ↓ 御嶽山の入山規制について

木曽町 (www.town.kiso.com)

役場メインページ ↓ 御嶽山噴火災害に関する情報

※いずれも気象庁のページ等、関連情報のページにリンクされています。

豊かな自然環境に恵まれ、しかしそれゆえに古来

自然災害の脅威に晒されてきた木曽。

今後『Kisojin』でも、その時々の御嶽山の状況や

山麓周辺も含めた観光情報など、

各方面の動向についてもお伝えしていきます。

忘れない

災害の日から1年を経過した昨年9月27日、山麓の王滝村に多くの関係者が参集し「御嶽山噴火災害犠牲者追悼式」が行われました。

11時52分、災害発生時刻に黙祷が捧げられた後、御遺族を代表し祭壇に立たれた東御市の伊藤ひろ美さんの言葉。

「主人の遺品の中には昼食に食べるはずだったサンドイッチがありました。なぜこんな悲劇が起きてしまったのでしょうか。入山規制が出されていればと悔やまれてなりません。」

瀬戸晋王滝村長の言葉。

「おやまがなぜあのような無慈悲なことを。心が引き裂かれる想いです。地元の自治体としてより安全安心な態勢づくりを進めていくことが犠牲者をお慰める唯一の道であり、私たちに課せられた重大な責務です。」

参列者の「決して忘れない」の想いが献花に託されました。



図7 噴火警戒レベルに応じた規制対応 (レベル2～5、想定火口・予知火口)
(王滝村H.P.「御嶽山の入山規制」より)

種別	名称	対象範囲	レベルとキーワード
特別警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5 避難
			レベル4 避難準備
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から居住地域近くまで 火口周辺	レベル3 入山規制 レベル2 火口周辺規制
	予報	噴火予報	火口内等 レベル1 活火山であることを留意

現在、御嶽山の噴火警戒レベルは「2」
(2016年3月末時点)

リノベーションによる木曽路観光のハブ化構想


木曽路観光の新しい中心になります!!

情報発信基地 木曽人

施設立ち上げのための 資金・情報・人財・企画等 皆様のお力を是非お貸してください!!

街角コミュニティ 木曽人

人々が気軽に集まれる“憩いの場”として、蔵を改装した親しみやすい施設をつくります。子ども達を対象とした各種イベントやセミナーを開催する予定です。
音楽系・デザイン・文学・工芸・年配者向け学習など、多岐に渡る学びの場を提供します。




軽食喫茶
誰でも気軽に立ち寄れる飲食コーナー。地元の食材・郷土料理を提供。

FM ラジオ局 コミュニティ 防災関係
より地域に密着した情報の提供。災害発生時には緊急放送に切り替えて地域の安心安全に貢献。

ギャラリー 作家展
木曽内外の作家の作品を発表。芸術・文化を通じて、地域の発展に貢献。

木曽の名産 お土産
木曽の名産品・特産品、地元のキャラクターグッズの販売。

木曽観光 発信基地
木曽郡全体を捉えた観光開発を企画・案内。

バックパッカー 休憩所
シャワールーム完備。海外からの観光客にも木曽をアピール。

木育 発信

情報誌 ホームページ 編集室

展望台 休憩所 トイレ

御嶽海 応援処

IIIレストハウス木曽路 観光バスも収容できる広い駐車場完備。施設内もかなり広いです。

今後の課題と目標

- 15人程度の雇用
- 5万人の観光客の呼び戻し
- 「木曽は一つ」への構想
- 観光情報の一元化
- 行政との情報共有

編集後記

『Kisojin』創刊号にお付き合いいただき、ありがとうございました。
「なるほどこんな木曽人もいるんだあ…」とページを繰りながら、何かしらあなたの心に芽生えていたら嬉しいのですが…。
次号以降も、“木曽に生きる” “木曽を想う” たくさん「木曽人」の顔が見える冊子にしていきたいと思っておりますので、応援よろしくお願ひします。
情報誌『Kisojin』への意見や要望、また「こんな木曽人を知ってるよ」「こんな木曽の姿を紹介して」など、情報がありましたら是非お寄せください。

お皆様の「声」を待ちます！

広告(スポンサー)を募集しています!

情報誌『Kisojin』は、フリーペーパーとして多くの読者の方に届けられるように、支えてくださるスポンサー様の広告収入により制作していきます。
配布・配置エリアは木曽地域と周辺都市部を基本的に徐々に拡充させていきたいと考えています。
会社・お店の認知度アップや商品・製品の発信、また経営スケジュールに沿った広告展開にと広くご活用ください。

広告を出したいという方は下記電話番号またはメールにてお問い合わせ下さい。担当者が詳しいお話をさせていただきます。

『レストハウス木曽路』様は、長い間木曽路の重要な観光拠点として運営されておりましたが、諸事情により平成27年に閉店となりました。
国道19号沿いにある本施設は、木曽八景のひとつ『寝覚の床』のすぐ上に位置し、また正面には木曽八景『駒ヶ岳』が臨め、近隣には木曽八景『小野の滝』もあります。
この絶好の設備とロケーションを有効活用すべく、当社団法人が多くの皆様方のご協力を得て『情報発信基地 木曽人』として運営する運びとなりました。しかし…

『情報発信基地 木曽人』の経営には多額の費用が必要になっていきます。皆様からのご支援を、心よりお待ち申し上げます。

木曽人プロジェクトにご賛同いただける方は、ぜひ、賛助会員への加入をお願い致します!

個人会員 1口 5,000円
法人・団体会員 1口 10,000円

※加入をご希望の方は、電話またはメールにてお問い合わせください。多数口大歓迎!!

TEL:0264-24-0116 FAX:0264-24-0117
E-mail info@kiso-jin.com

ホームページ <http://www.kiso-jin.com>
(ホームページにも加入申し込みフォームがあります)

一般社団法人 木曽人 役員一同



代表 小林 夏樹 理事長 山田 弘 理事 木村 みか